

ワカモノ未来会議を開催しました

国の地方創生による村の総合戦略を策定するため、7月9日、将来を担うワカモノが集い「ワカモノ未来会議」と題してワークショップを開催しました。村の未来を考えたワカモノのプレゼンテーションに熱い議論が交わされました。

テーマ 「一つの家族のような白川村に」

白川郷学園代表 白川中学校 生徒会長 北原 直人さん
副会長 板谷京志郎さん
執行委員 山田 真帆さん

私達にはこれから白川村をつくっていく役目がある。仲が良い小中学生は将来一つの家族のような白川村をつくるはず。いつもお世話になっている村に恩返しをしたい。



テーマ 「高校生の地域参画」

地元高校生 飛騨高山高等学校3年 横井 麻衣さん

村の未来と自分の未来を自然と重ねるようになった。長男だから、長女だから、仕方がなく帰ってくるのではなく積極的に帰ってくるワカモノづくりが必要。村に高校をつくる。保・小・中・高一貫教育によって他地域からの移住が期待できる。高校生の地域参画によって、“年下のヤツらには負けていけない”と刺激を受けたワカモノが村に帰ってくる。ワカモノが溢れる村づくりが村の明るい未来へとつながる。



テーマ 「帰ってきたい村」

Uターンの獲得に向けた村の活動があまり感じられない。石垣島は観光地として知名度が高くなるにつれ移住者が増えた。憂しいことだけど、一方で変わってしまったこといっぱいある。文化や伝統が薄れた。生まれ育った子ども達が帰ってきづらい場所になってしまった地域もある。とても悲しいこと。世代を超えた子ども達が村の未来を真剣に考える場づくりが大切。大人と本気でぶつかり合える場。子どもが変われば大人も変わる。大人が変われば地域が活気づく。

地域おこし協力隊 前盛よもぎさん



テーマ 「天からのプレゼント」

白川村総合計画策定事業委託コンサルタント 有限会社トシイデア

顧問 村山 利夫さん

白川村だからこそ出来る世界は限りなく広い。地方創生や総合計画はそれを具体的に表現していくものである。外から見て村に魅力がないと人は集まってこない。村の価値を一層高めて静かに誇れる白川村にならなければならない。



7月15日 19:00～ 総合文化交流施設

7月15日総合文化交流施設において第3回柿じいの白川遺産学セミナーを開講しました。実施した。今回はⅠ部：村会・村財政と村政、Ⅱ部：白山信仰について話し合いましたのでご報告させていただきます。

I 村会・村財政と村政

(1) 明治22年(1889)年7月、村会議員の等級選挙実施
定員12名、任期6年(但し3年毎に半数選挙)、名誉
村会の主な職務は下記のとおりである。

- ① 条例・規則の制定
- ② 財政の歳出入の決定及び決算の認定
- ③ 以下略
- ④ 村行政執行部の選出(村長、助役の選出・知事の認可、収入役は村長の推選、議会選任、郡長の認可)

(2) 村が独自の財源に基づいて財政を自主的に運営する事が可能になった(地方自治体)。

村税は国・県税の附加税+特別(独自)税の2種に大別できる。明治25年歳入予算額中88.6%は村税(地価・戸籍制)であった。

大正・昭和期の歳入予算額中に占める村税と補助金の割合は下記のとおりである。

大正期 村税(約50%)、補助金(約25%)

昭和期 村税(約20%)、補助金(約40%)

つまり昭和期の村財政は、国・県補助金に大きく依存していたことがわかる。

(3) 地方自治制度は上級官庁(国・県など)の監督権限が強く、自治制度とはいえ、官治的自治の性格を初めから担っていた。

II 白山信仰について【1】

(1) 従来までの説

- ① 古来からの土着の信仰
- ② 泰澄開山による白山信仰(主神 菊理姫)
- ③ 大陸から渡来のシラヤマ信仰(稲霊・産霊)

(2) 水分信仰(みくまりしんこう)として山麓の村々から崇敬されてきた(龍神)

宇田章二氏によると「尾神・尾上の地名は水分信仰が由来のようで『古事記』の中の神生みどきには、龍神として『淤加美神』が出現しました。(以下略)」「白川郷の地名考(5)」より)

(3) 村内の各地区に祀られている産土社と湧水の関連



次回告知

8月19日 19:00～総合文化交流施設にて第4回柿じいの白川遺産学セミナーを開講します。皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。

内容：Ⅰ部 新しい村の統合と区長会

Ⅱ部 加須良蓮受寺の伝承と法要について(先にチラシにて告知していました内容と異なっていますのでご了承下さい。)

「第1回 夏のお楽しみ会」を開催しました。

7月29日に「第1回夏のお楽しみ会」を旧平瀬小学校グラウンドにて開催しました。

私たち白川村遊友会（白川村青年会）では「子どもと大人がともに活動出来る場の設定」を本年度の目標に活動しており、各地区青年会の活動ではなく白川村全体の青年活動としては初の試みとして開催しました。

このお楽しみ会は例年南部地区青年会で行なわれていた行事ですが、小中学校統合で各地区の子どもたちが共に成長する中で、この様な行事を南部だけではなく村全体のイベントとして各地区青年会が立ち上がりました。

当日は各地域からたくさん子どもたちを含め村民の皆さんで賑わい、焼きそばやかき氷などのバザーの他にもヨーヨーすくい、スーパーボールすくい、輪投げやストラックアウトなどのアトラクション、そして何より手持花火1,000本、打ち上げ花火100発。皆さんと素晴らしい夏の思い出づくりが出来ました。今回、遊友会メンバーをはじめ、たくさんのご協力あって開催することが出来ました。心より感謝します。ありがとうございました。



イベント後の 遊友会メンバーからの 感想・コメント

お楽しみ会をやってから2日たちますが…次の日からお父さんお母さんや子どもたちにも、ありがとう！楽しかったよ！美味しかったよ！お疲れ様でした！来年もやってね！そして、南部ではあんな企画をしてたんだねって！

今年は（村）全部でやってくれて子どもがすごく喜んでたよって言っていただきましたあ！
花火もありがとうって声が多かったです！

こうやって言うてもらえることに感謝ですよ！それに、（当日まで）バタバタしたことも沢山ありましたが、親さんが青年頑張ってるねって言ってくれたことがさらに嬉しかったです！

来年も子どもや地域のみなさんが喜んでくれることが出来たらいいですね！

『社会を明るくする運動』強調月間について

☺ 啓発活動にご協力いただき、ありがとうございました。 ☺

『社会を明るくする運動』は、すべての人が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、毎年7月が強調月間となっております。

白川村では、保護司、更生保護女性会、その他関係団体が中心となって、6月29日のふれあい運動会を皮切りに啓発活動を展開しました。

また、7月7日に白川中学校3年生を対象に学校薬剤師の鈴木敏文先生による『薬物乱用防止出前講座』が行われました。3年前の小学6年生の頃に同氏による授業を受けた生徒達は、以前のおさらいに加え、この3年間に法改正等で取り締まりが大幅に強化された、危険ドラッグの恐ろしさについてビデオを見て学習しました。

危険ドラッグ等はアロマオイル、バスソルトといったどこでもある製品のような見目で、用途を偽って

売られています。依存性も強く、「たった一度なら」などと甘く考えて手

を出すと、また使いたくなる『薬物依存』の悪循環にはまってしまい、自分の意思ではやめられなくなるという怖さもあります。薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ。』の合言葉に加え、迷った時は友達や親、先生に聞くなど相談する場所をつくっておくことが大事であるというメッセージをこの授業を通して感じました。



薬物乱用防止出前講座



6月29日 ふれあい運動会にて



6月30日 白川小学校にて



7月1日 保護司による
内閣総理大臣・岐阜県知事
メッセージの伝達



7月3日 白川中学校にて



7月24日 平瀬保育園にて

7月30日 白川保育園

消防署だより

平成二十七年 全国統一防火標語
『無防備な 心に火災が かくれんぼ』



【五箇山出張所との 林野火災合同訓練】

六月十七日、南砺市菅沼地内合掌の里において、砺波広域消防本部五箇山出張所と林野火災合同訓練を実施しました。

今回の訓練は菅沼地区合掌造り付近にて林野火災が発生したと想定し、砺波広域消防と高山消防の相互応援協定に基づき、白川出張所が応援出動する内容で訓練を実施しました。

両消防本部においても、世界遺産合掌造りを管轄とする消防署として、連携し迅速に消火活動を行うことができました。



【水難救助訓練について】

六月二十九日、鳩谷ダム湖において白川出張所及び高山市消防本部特命出動隊水難救助班と合同で水難救助訓練を実施しました。

救助方法や器具の取扱い、船の操縦等を確認した後、実災害を想定した訓練を合同で実施しました。相互の活動を確認し、連携して実施する事ができました。



7月中の火災と救急 火災 0件 救急 11件 救助 0件

自衛官採用説明会を開催します

自衛隊高山出張所では、次の通り自衛官採用説明会を開催いたします。

日	時 間	場 所
8月22日(土)	10:00~17:00	◆自衛隊高山出張所 高山市花岡町2-58-2 高山ビル2階(裁判所前)
8月23日(日)		
8月29日(木)		
8月30日(日)		



※ 説明会は個別に実施しますので、都合のよい時間にお越しください。
なお、当日来場できない方は、連絡いただければ随時対応いたします。

平成27年度 自衛官等募集案内

募 集 種 目	資 格	受 付 期 間	1 次 試 験
一般曹候補生	18歳以上27歳未満	8/1~9/8	9/19
自衛官候補生	18歳以上27歳未満	8/1~9/8	9/19
航空学生 (パイロット養成コース)	高卒(見込含) 21歳未満	8/1~9/8	9/23
防衛大学校 (一般・前期)	高卒(見込含) 21歳未満	9/5~9/30	11/7・8
防衛医科大学校 (医学科)	高卒(見込含) 21歳未満	9/5~9/30	10/31・11/1
防衛医科大学校 (看護学科)	高卒(見込含) 21歳未満	9/5~9/30	10/17

▼問い合わせ先

自衛隊高山出張所 高山市花岡町2-58-2 高山ビル2階
☎0577-32-3028

診療所
だより
伊左次 悟 先生



抜苦与楽

新しくなった白川診療所では、村民皆さまからいただいた作品をたくさん飾らせていただいています。先月の広報7月号のカメラ散歩のコーナーでも一部紹介されました。皆さまのおかげで新診療所に華を添えていただいております。本当にありがとうございます。

さてそのなかに、鳩谷の間瀬昭様からご寄贈いただいた書道家青柳志郎先生書「抜苦与楽」という貴重な作品があります。「抜苦与楽(ばっくよらく)」とは「苦しみを取り捨て、やすらぎを与える」という意味であ



るそうです。これは医療が目指す精神にも通じるところがあり、診察室前の廊下に飾らせていただきました。本当にありがとうございました。

た。センター長の後藤先生が水曜の診察に来た折にも廊下でこの作品に見入っておられ、(へき地に赴任している自治医大)卒業生たちに見させたいものだとおっしゃっていました。新白川診療所の診察室前に飾っておりますのでぜひ皆様ご覧になってください。

ついに荻町の旧診療所も壊されてしまい寂しい面もありますが、これからも新しい診療所で元気に頑張って参りたいと思います。

スマート国勢調査！ 平成27年 国勢調査を実施します



国勢調査 2015



- 国勢調査は、平成27年10月1日現在、日本に住んでいるすべての人及び世帯が対象です。
- 平成27年国勢調査は、少子高齢化社会における日本の未来を描く上で欠くことのできないデータを得るために実施いたします。調査結果は、さまざまな法令にその利用が定められているほか、社会福祉、雇用政策、生活環境の整備、防災対策など、私たちの暮らしのために役立てられます。
- 今回の調査では、先にインターネットでの回答を受け付け、インターネットで回答されなかった世帯には紙の調査票を配布して調査を行います。紙の調査票は、調査員に直接提出いただくか、郵送でも提出いただけます。
- 9月10日から、調査員がインターネット回答のための書類をお配りしますので、インターネットでの回答をお願いします。
- 国勢調査は、統計法で国の最も重要な統計調査（基幹統計調査）として位置づけられ、この基幹統計調査では、調査票に記入して提出する義務（報告義務）が定められています。
- 国勢調査をよそおった「かたり調査」にご注意ください。
- 調査員をはじめとする国勢調査に従事する者には、統計法によって、個人情報保護するための厳格な守秘義務が課せられており、調査票の記入内容は厳重に守られます。

国勢調査については、「国勢調査2015キャンペーンサイト」をご覧ください。

<http://kokusei2015.stat.go.jp/>

国勢調査2015

検索

総務省・岐阜県・白川村

世界文化遺産登録20周年記念事業

美濃和紙あかりアート in 白川郷合掌造り集落

2015年8月29日(土)、30日(日) 【場所】白川村 荻町合掌造り集落

2015年9月 1日(火)～30日(水) 【場所】野外博物館 合掌造り民家園

美濃市で開催される「あかりアート展」歴代受賞作品とともに、白川村の子どもたちや村内の家族ぐるみで作成したあかりアート作品で、白川郷合掌造り集落を和紙独特の優しい光で照らし出します。8月29日には、白川村観光ふるさと大使も務める世界的二胡奏者「ウェイウェイ・ウー」さんのスペシャルコンサートが行われます。普段見られない「合掌造り」の景色を是非、ご覧下さい。

メインイベント (8月29日)

開会セレモニー (明善寺境内特設ステージ)

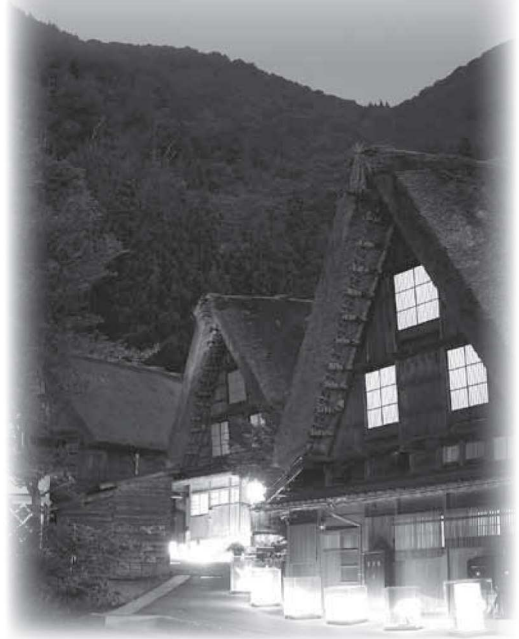
18:10～ 開会

18:20～ 展示解説

18:30 点灯 (子どもたちのカウントダウンによる)

19:00～ ウェイウェイ・ウー スペシャルコンサート
(明善寺境内特設ステージ)

※あかりのオブジェは9月末まで引き続き「野外博物館合掌造り民家園」で展示し、9月19日(土)～23日(水)にはライトアップも実施します。



とくとく商品券販売中です!

今回で3回目となる「白川村とくとく商品券」の販売を今月3日よりスタートしました。この事業は村民の購買意欲の拡大による地域経済及び商工業の活性化を図ることを目的として行っています。

今年は、1冊の中に1,000円券だけではなく500円券を綴入れ、少額のお買い物にも対応できるようになりました。また例年よりも多くの方にご購入いただき、ご利用いただいています。販売場所、販売期間・利用期間等は下記のとおりです。この機会にまだご購入いただいていない皆さまも是非ご購入、ご利用いただきますようよろしくお願い申し上げます。



販売場所：役場観光振興課、平瀬カルチャーセンター

販売期間：9月30日(水)まで

販売時間：【役場】平日9時～16時

【平瀬】毎週火曜日9時～12時

利用期間：12月31日(木)まで

利用可能店舗：商工会加盟店(全161店舗)